血ぬられし テルミドールを打ち破り
総反撃を開始せよ!

〔工部制統合廃止粉砕!!全ゆる領域から決起し、労働者階級の闘いと共同して、自らの権力を射程に入れよ!!〕

学友会

《駿台祭への参加を呼びかける》

テルミドール（総同）それは〈反革命〉の意である。労働価値上を、多くの学生を飢へ送る事によって貫徹した当局は、近代化＝合理化路線をひたはしりしようとしている。そして、それは、闘いの粉砕、学生の圧殺（＝管理支配の強化）……テルミドールをもってなされようとしている事を知らねばならない。いや、知らされるだろう。現在の学館コンクリート封鎖、家族攻撃、等々、血にぬられたテルミドールは、すでに始まっている。

私達の闘いは、「革命理論」や「イデオロギー」がなければ闘えないなどと言う訳ではない。私達の闘いは、日々の現実的な制約からの脱却であり、24時間全生活過程（労働＝消費）、全領域からの闘いである。そして、今やブルジョアジーの醜い野望を粉砕し、労働者階級が自らの〈権力〉を獲得すべき時代＝世界に突入したのだ。

《祭り》を、非日常的な、であるから日常からの脱走＝なぐさみとする者を拒絶しよう。

《駿台祭》に、君達が何を求め―あるいは求めさせないシラケ―るにしても、私達は訴える。闘いを開始せよ。全ゆる領域（当然、所謂文化運動＝サークルもだ）から、社会へと反撃を行い、腐敗したブルジョアジーどもを、その「世界」をぶち破り、自らの総性の全面開化と言われる事がある。但し、それは闘いによって、否、闘いの只中にこそある。紙上の細部を微画化した日本共産党の「明朗、健全」文化人どもを、ぶち倒せ。私達は、自分自身の手に―その中から、今、〈文化〉を生み出そうじゃないか!!

駿台祭へ〈クラス〉で参加しよう!! クラスで企画に参加し、実行委員会へ委員を派遣しよう。

私達学友会は、自治会運動の階級的再生を、全生活過程（労働＝消費）―全領域を貫いた闘い＝行動委員会運動の中に見つめて来た。駿台祭を、単にサークル参加者の〈行事〉とする事なく、今、明大工部に通っている者達の〈行事〉としようではないか。

今まで、多くの場合、駿台祭においてはクラス参加はなかった。全自治会員の諸君が、〈観客〉者としてではなく〈行為〉者として参加される事を訴える。

各クラス―サークルからの、統一した闘いをもって、運動としての〈駿台祭〉を克ち取ろう!!

ルフェーヴルは、パリ・コンミューンを〈祭り〉であったと言った。戦いこそ、私達の〈祭り〉である。戦いにこそ、創造と新しい文化を生み出す原動力がある。

しかし、戦いは多くの〈反動―反革命〉に見舞われ、テルミドールに、数万、数十万の戦士の命が、醜悪なブルジョアジーの手によって奪われ、今まだ、その手は血にまみれている。

私達を取り囲む状況〈は、文字通りテルミドールの道か、そうでなく〈コンミューン〉への道か、が迫られている。現代＝国家独占資本主義体制下の〈テルミドール〉は、ファシズムとして、現実にその実現を準備している。

《駿台祭》に、すべてを求める「幻想」はない。しかし私達は、《駿台祭》を運動として、闘いの一領域として準備し、総反撃―総反乱を開始しようではないか。

現在、'70年度駿台祭実行委員会（準）では、各クラス―サークルからの「企画」（テーマ・行事）を募集しています。すべての自治会員諸氏の積極的参加を求めます。

〔連絡先＝ 駿実（準）又は、学友会（266番）〕

工部改廃の先ぶれ、学館コンクリート封鎖＝工部サークルつぶし策動を粉砕して、工部学生独自の闘いを、生き生きと展開しよう!!

〔駿実（準）会議〕
7月23日
24日 〉場所は、連絡先へ向こさ。